

## 平成 27 年第 16 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 12 月 24 日（木）

午後 4 時 00 分～午後 4 時 55 分

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 齋藤委員 土肥委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課主幹 日下学校給食センター所長

畑島指導室長 高田生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キャンパス推進室長 飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

選挙第 1 号	委員長選挙の件
選挙第 2 号	委員長職務代理者指定の件
選挙第 3 号	委員長選挙の件
選挙第 4 号	委員長職務代理者指定の件
その他 1	平成 27 年第 4 回市議会定例会一般質問について
その他 2	平成 27 年度教育関係施設工事等の進捗状況について
その他 3	平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(美唄市調査結果)について

## 概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成27年第16回美唄市教育委員会議を開会します。順序第1 会議録署名委員に、齋藤委員を指名いたします。次に、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告並びに行事報告・行事予定となっていますが、本日は、順序第4の議題に人事案件がありますので、議事日程を変更し、選挙第1号 委員長選挙の件について、行うこととします。それでは、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 本件は、高橋委員長の教育委員としての任期が平成27年12月23日をもって満了となることから、第4回市議会定例会に人事案件として提案され、引き続き教育委員として同意されたところであります。高橋委員長には平成27年1月7日から1年間の任期で委員長に選任されていましたが、12月23日で、1度任期が満了したことから、教育委員長の残任期間であります平成27年12月24日から平成28年1月6日までの委員長選挙を行っていただくことになります。委員長選挙については、美唄市教育委員会会議規則第2条第1項により無記名投票の選挙で決定することになっておりますが、同条第2項では、各委員に異議がないときは、指名推薦の方法によることができることとなっております。

●高橋委員長 選挙の方法については、どのようにいたしましょうか。

●齋藤委員 指名推薦がいいのではないのでしょうか。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは、指名推薦の方法によることとします。

●齋藤委員 高橋委員長に引き続きお願いしたいと思い、推薦いたします。

●高橋委員長 齋藤委員よりご推薦がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは、指名いただきましたので、引き続き、私が務めさせていただきます。

続きまして、選挙第2号 委員長職務代理者指定の件について、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 ただいま、委員長選挙が行われ、高橋委員長が1月6日まで選任されました。委員長職務代理者の指定については、美唄市教育委員会会議規則第3条で委員長が会議に諮って指名することになっております。

●高橋委員長 委員長指名ということでもありますので、私としては、引き続き森田委員に職務代理者をお願いしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは、森田委員を職務代理者として決定いたします。

続きまして、選挙第3号 委員長選挙の件について行うこととします。事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 ただいま、平成28年1月6日までの委員長選挙と職務代理者指定につきまして、決定していただきましたが、引き続き平成28年1月7日からの委員長について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定により選挙を行っていただきます。なお、任期については、早瀬教育長の任期限である平成28年12月31日までとなります。また、美唄市教育委員会会議規則第2条第1項により、無記名投票の選挙で決定することとなっておりますが、同条第2項では各委員に異議がないときは、指名推薦の方法によることができることとなっています。

●高橋委員長 選挙の方法について、どういたしましょうか。

●土肥委員 指名推薦がいいのではないのでしょうか。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは、指名推薦の方法によることとします。

●土肥委員 高橋委員長に引き続きお願いしたいと思い、推薦いたします。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは指名いただきましたので、引き続き、私が務めさせていただきます。

次に、選挙第4号 委員長職務代理者指定の件を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

●伊藤教育部長 委員長職務代理者指定については、美唄市教育委員会会議規則第3条で委員長が会議に諮って指名することとなっております。

●高橋委員長 私としては、引き続き森田委員に職務代理者をお願いしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

●各委員 異議なし

●高橋委員長 それでは、森田委員を職務代理者として決定いたします。暫時、休憩いたします。

(休憩)

●高橋委員長 本日は、議事日程の順序第4に人事案件がありましたので日程を変更し、選挙第1号 委員長選挙の件、選挙第2号 委員長職務代理者指定の件、選挙第3号 委員長選挙の件、選挙第4号 委員長職務代理者指定の件を先に協議い

たしました。選挙の結果について、事務局から報告お願いいたします。

●伊藤教育部長 休憩前の会議において、平成 27 年 12 月 24 日から平成 28 年 1 月 6 日までの委員長選挙及び委員長職務代理者の指定が行われ、委員長に高橋委員長が委員長職務代理者に森田委員が指名され、また、引き続き平成 28 年 1 月 7 日からの委員長選挙及び委員長職務代理者の指定が行われ、委員長に高橋委員長が、委員長職務代理者に森田委員が指名されましたので、ご報告いたします。以上です。

●高橋委員長 それでは、会議を続けます。

議事日程、順序第 3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 資料に基づきまして、説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙 1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙 2）

●高橋委員長 ただいま、教育長報告並びに行事報告・行事予定について説明がありましたが、何かご質問ありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、次に、その他 1 平成 27 年第 4 回市議会定例会一般質問について、説明をお願いします。

●伊藤教育部長 その他 1 平成 27 年度第 4 回市議会定例会一般質問についてご説明を申し上げます。まず、日程についてですが、会期のうち 12 月 4 日及び 7 日の 2 日間に渡りまして、一般質問が行われました。全部で 8 人の議員の質問がございまして、そのうち 5 人が教育長へのご質問でございました。内容につきまして、次のページから説明させていただきます。

※一般質問、答弁内容説明（添付資料 別紙 3）

●高橋委員長 ありがとうございます。ただいまの件について、何かご質問等ありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他 1 平成 27 年第 4 回市議会定例会一般質問については終わります。次に、その他 2 平成 27 年度教育関係施設工事等の進捗状況について、説明をお願いします。

●伊藤教育部長 今年度の当初予算、補正予算の中で、教育委員会関連の工事をすることとなっています。現在までの発注状況、工事の進捗状況につきましてまとめ

ておりますので、それぞれ、担当からご報告申し上げます。

●阿部学務課長 学務課の関連工事についてご報告申し上げます。はじめに、1番上の、市内小学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事でございます。併せて、市内中学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事についても同じものでございまして、平成27年9月10日に、一般競争入札の地域限定型というもので、美唄市内の業者で入札をいたしました。小学校につきましては、5校の屋内運動場の耐震工事を行い、中学校につきましては、峰延中学校を除く3校で工事を行いました。工期が明年3月31日となっております、現在、冬休みを中心に工事を進めるということでやっています。もう工事に入っていますが、冬休み中心にと考えています。両方合わせまして、93,571,200円という工事費になっております。工事の内容については、小学校・中学校ともに、吊り下げ式・壁面式バスケットゴールの耐震化工事で、具体的には、新しいものに取り換えて設置いたしまして、耐震工事をして、固定するというような中身になっていきます。併せて、照明器具ですとか、上からぶら下がっているものもしっかり固定するという工事も予定しています。次に、上から3つめになりますが、峰延小学校の給食用小荷物専用昇降機改修工事、工事は終了しておりますが、給食用のダムウェータといいまして、エレベーターの改修工事です、これも改修工事といいましても、全部新しいものとなりまして、場所は同じところですが、新品のものを入れ替える工事になっていきます。次に、公共下水道接続工事(茶志内小学校管理者用住宅)ですが、下の公共下水道接続工事(茶志内小学校)と併せて行っております。茶志内地区については、平成27年度までに下水道を接続しなくてははいけませんので、小学校の下水道工事と管理者用住宅の工事を行いました。教育委員会の所管ではありませんが、茶志内の福社会館と茶志内の双葉保育所もいっぺんに工事をしたということです。次に1番下ですが、学校給食センター温水ボイラー取替工事を行いました。これにつきましては、給食センターを建設しまして20年以上経過しておりますので、施設設備については、計画的に改修していかななくてはならず、今年度につきましては、調理用・暖房用ボイラーを、給食センターは床暖になっていきますが、暖房と調理用ボイラーを工事しております。これについては、給食に影響が出ないように夏休み中に終了したということであります。次、ページをめくっていただきまして、学校給食センター電動式シャッター改修工事ということでありまして、給食搬入口、それから給食を配送車に乗せる入口の電動シャッターがございまして、壊れたときの部品がないということで、シャッターが開閉できなくなることがありまして、取替工事をいたしました。これも、夏休み中に終わっております。学務課関連は以上です。

●高田生涯学習課長 生涯学習関係の工事ではありますが、ただいまのページの2つ目になります。美唄市体育センター改修実施設計委託ということで行っております。体育センターについては、北海道教育委員会から借用しておりますが、道教委の方の許可をいただいて、トイレ、玄関、玄関スロープ、事務室の設置をするために設計をいたしたものです。こちらにつきましては、指名競争入札で行いまして、7月末で完了しております。続きまして、総合体育館照明設備制御盤改修工事でございます。こちらにつきましては、総合体育館全体の照明を管理しております制御盤が老朽化によりまして、動作が不安定になりまして、接触不良になっておりましたのを、取り換え、改修をしたということでございます。こちらにつきましても、指名競争入札で行いまして、こちら、8月いっぱい完了してございます。次に、こちらは補正予算で行いました公民館・市民会館蒸気ボイラー配管改修工事ということで、当初予定しておりませんでした、蒸気管に穴が開き、蒸気漏れがおき、大ホールの暖房がきかなくなったという状況にありました。急遽、補正予算を行いまして、指名競争入札を行いました。その結果、10月末までにボイラーの改修を終了しております。次の3本立てになりますが、同じく補正予算で、先ほど申し上げました実施設計の委託が完了したのを受けまして、体育センターの改修工事といたしまして建設主体工事、機械設備工事、それから次のページになりますが、電気設備工事を3分割にして発注しております。建築主体工事につきましては一般競争入札で行っております。また、機械設備につきましては指名競争入札、電気設備につきましては指名競争入札ということで、いずれも、今年いっぱいの工期ということで実施しておりまして、現在、トイレにつきましては11月末頃に仮完成いたしまして、まず先に利用者の方に利用していただいております。スロープ等につきましては、明日、完了検査を受けて、実際の供用開始は、来年、年明けの中旬頃を予定しておりますが、今度は新しい施設で利用を開始していただけるようになっております。次に、補正予算で行いました温水プール真空式温水機改修工事でございますが、これにつきましても、温水プール内の温水、また、館内の暖房を2基の温水器で行っておりますが、そのうちの1基のボイラーに穴が開いたことによりまして、使用が不能になりました。1基のままだと、冬の利用が非常に困難になるということで、急遽、補正予算で行いまして、指名競争入札の工期11月27日で完了しております。なお、この工事に伴いまして、例年2月に行っております、館内を休館しての館内の点検・清掃を11月に前倒し、利用者の不便を、最低限の範囲でおさめるということもしながら行いました。以上でございます。

●高橋委員長 ありがとうございました。ただいま、27年度教育関係施設工事等

の進捗状況について説明がありましたが、何か質問ございませんか。

なければ、その他3 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(美唄市調査結果)について説明をお願いします。

●畑島指導室長 平成27年度の体力関係の調査が道教委の方から発表され、こちらの方にデータが入ってまいりましたので、その内容について、美唄市の観点から調査結果をまとめたものを報告させていただきます。なお、市議会定例会において、川上議員の一般質問に対する答弁ですが、その内容については、平成26年度の内容について答弁しておりまして、この調査結果が最新版ということになっています。最初に1ページをお開きください。1ページ1番、調査の概要(1)調査の目的の丸の3つめです。「各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。」これらを1番大事な観点として進めておりまして、そのための継続的な検証改善サイクルの確立を目指す必要があることから、この調査を、昨年度より進めているということです。2ページの2の実技に関する調査ですが、小学校について、2ページで申しますと、小学校の男子については全国との比率においては「やや低く」、全道は「ほぼ同様」、25年度と比べると「やや高く」、昨年度と比べると「やや低い」、こういう感じでグラフを作っております。昨年度は2ページ、3ページ、4ページの内容をレーダーチャートという形で1つにまとめていたのですが、見づらいなので、3ページに渡って掲載し、分かりやすく改善をしております。これと同じ内容が、中学校にもいえまして、6ページからが中学校の内容となります。それで、7ページ、8ページですが、先ほど申しましたように、昨年度は、25年度、26年度の比較だけだったのですが、今年度から25、26、27の3年間、来年も続けると4年間と増えていきますので、レーダーチャートでの記載は難しいことから棒グラフに変えています。中学校の実技各項目を例にとって見ますと、例えば7ページ、男子の左上から3番目の「20mシャトルラン」を見ますと、今まで、持久力に関することが、美唄市は比較的苦手だったのですが、「20mシャトルラン」は持久力を測るということはありませんが、やり方が上手にやれないとマラソンと違って結果に繋がらないことがあり、この結果も、多分、急に体力が上がったのではなく、やり方が結果に繋がってくれたのだろうと推察をしています。このことによって、今回については、全国と「ほぼ同様」とまで上がっています。一方、女子については、昨年度に引き続き、中学校女子については、全国に比べて「低い」という結果が出ています。低いということは、5ポイント以上開いていることになりませんが、その中でも、左の上から2番目の「長座体前屈」を見ますと、年々上がっている内容もあります。これは、

急に柔らかくなったということではなく、こういう数値を出すための練習とかの回数を増やし結果に繋がったのだらうなということで、男子のシャトルランと同じです。ただ、女子の場合は、「20mシャトルラン」とその隣の「50m走」のように、まだまだ、技術がしっかり伝わっていないものがあるのではないかなということが推察され、しかる事態もないかもしれませんが、この数値を高めるための指導方法についても、各学校に伝えていく必要があるかなと考えています。11 ページをお開きください。11 ページからは児童生徒の質問紙の内容について、昨年度と同じ内容を記載し、3年間の経年変化を取り揃えて、棒グラフで見れるような形にしております。17 ページをお開きください。今回の児童生徒調査の質問で1番際立っていたのが、この17ページの中学校の男子・女子なのですが、お手元の色のついたグラフの赤い色を見てください。赤い色は「授業中、自分の動きをビデオで見た」で、だから出来ないことも出来るようになったきっかけを作ったということです。これが、全国・全道に比べて「極めて高い」です。18 ページの下から4行目に書いてありますが、「授業中、自分の動きをビデオで見た」という回答が、男女共に群を抜いて高くなっている点が特徴的である。このことから、個に応じたきめ細かな指導や生徒の主体性を育む教材・教具の工夫などについて、教師が日常的に取り組んでいる様子がうかがえる。この調査をしている目的は、そういうところを指摘して、いいところは褒め、ダメなところは改良を要求するというかたちとして、この調査を使っていきたいと思います。もう1点、素晴らしく改善されたのが19ページ、20ページの両方とも②番の横に長い棒グラフです。新体力テストを実施している学年について、昨年度はその下に、1番上が27年度で、その下が26年度の美唄で、見比べていただければよく分かると思いますが、小学校は、きわめて全学年で取り組む学校が増えました。具体的にいうと、あと東小学校だけになりました。中学校については、すべての学年で新体力テストを実施してもらえるようになりました。これが、継続するという意味では、1番大事な第1歩だったので、非常に評価して行きたいなと思っています。これの課題についていうと、全ての学年が、先ほど見ていただいた8種目全部をやっている訳ではなく、低学年でいうと、まだ2、3種目だとか、そういう実態があるので、今後の改善としては、全学年、全種目ということを経営することを目指していく必要があると思います。最後21ページ、これは、昨年度なく、新たに掲載をさせていただきましたが、美唄市の学校と家庭が取り組む方向性として(1)学校(2)家庭と分けて記載いたしましたが、この記載内容の(1)については、教育委員の皆様が、学校視察訪問に行ったときに、学校の方で準備をしていた体力に関わる状況を取りまとめているものです。それから(2)番



の家庭での方向性については、市P連の研修会で皆さんから出していただいた内容を取りまとめたものです。その中の1番最後です。黒丸の1番最後、「体力等の調査結果は継続することによって高めることができる。大事なものは、体力増進を図ることで健やかな体づくりにつながることを併せて教えていくことが大人の務めである。」これが、高橋委員長にまとめていただいた言葉ですが、ここを大事にしながら、先ほどの目的の1番大事なものとリンクしていますので、そういう意味でこの調査を、今後使っていきたいなと考えています。以上、報告いたします。

●高橋委員長 ただいま、平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(美唄市調査結果)について説明をいただきました。何か質問等ありませんか。

●森田委員 非常に分かりやすい調査報告でした。

●高橋委員長 非常にわかりやすい調査報告だということでもあります。他に何かございませんか。

●森田委員 東小学校だけが取り組んでいないということは、理由は何かあるのですか。

●畑島指導室長 校内体制が整っていないだとか。

●早瀬教育長 対象学年は行っているが、全学年していないことです。

●高橋委員長 何か、他ありませんか。これは、もう配られるのですか。

●畑島指導室長 この後の予定ですが、ホームページに掲載するのを1月と考えておりまして、その時期に併せて各学校に2冊ずつ配る予定です。カラー版なので、ちょっと費用がかかりますので2冊で、あとは、データをメールで送ります。

●高橋委員長 分かりました。あと、他に何か質問等ありませんか。なければ、本日の議事については終了いたしました。他に何か事務局からありませんか。

●伊藤教育部長 事務局からはありません

●高橋委員長 なければ、これを持ちまして平成27年第16回美唄市教育委員会議を終了いたします。ご苦労様でした。

それから、また、委員長として再選されましたので、来年もよろしくお願いいたします。

16:55 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 11 月 18 日

至 平成 27 年 12 月 23 日

区 分	会 議 等	
11月18日	第 15 回教育委員会議	教育委員室
19日	平成 28 年度学校職員人事 1 次協議	説明員室ほか
19日	キッズ・アスリートスクール閉校式	総合体育館
20日	美唄市職員勤続表彰式	大会議室
22日	峰延獅子舞シンポジウム	市民会館
24日	感謝状贈呈式（(株)但野三興）	市長応接室
25日	平成 27 年度教育懇談会	ホテルスエヒロ
27日	美唄市青少年育成功績者表彰式	市長会議室
27日	美唄型教育研究会	中央小学校
27日	「第 28 回スポーツ交流の集い」及び市政功労受賞を祝う会	ホテルスエヒロ
30日	美唄市総合教育会議	市長会議室
30日	第 2 回指定管理者選定委員会	市長会議室
30日	教育講演会	総合福祉センター
12月 1日	平成 27 年第 4 回市議会定例会（～11 日）	議場ほか
1日	「栄誉を讃えて」表彰式	市長会議室
3日	第 2 回教育支援委員会	市長会議室
5日	中央小学校スクールバンド演奏会	中央小学校
12日	2015 グリーンルネサンス推進事業・シンポジウム	市民会館
13日	アカシヤ幼稚園クリスマス聖劇	市民会館
14日	絵本の寄贈（札幌地区トラック協会岩見沢支部）	市長応接室
16日	平成 27 年度北海道教育実践表彰選考委員会	道庁(札幌市)
18日	平成 27 年度第 4 回空知管内市町教育委員会教育長会議	空知合同庁舎(岩見沢市)
21日	学校職員退職者辞令交付式	教育長室

上記のとおり報告する。

平成 27 年 12 月 24 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙3】

## 11 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
18	水				
19	木	第8回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
		ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
		キッズ・アスリートスクール <sup>⑩</sup>	17:00	総合体育館	市民
20	金				
21	土	栄幼稚園発表会	9:30	栄幼稚園	
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
22	日	峰延獅子舞シンポジウム	13:30	市民会館	市民
23	月				
24	火	第8回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	関係者
25	水				
26	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
27	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
28	土				
29	日	リサイクルBOOKフェア	10:00	市民会館会議室	市民
30	月	教育講演会	18:30	総合福祉センター	関係者

## 12 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	火				
2	水				
3	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
4	金				
5	土				
6	日				
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
		グリーンルネサンス・シンポジウム	12:00	市民会館	市民
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	第9回定例校長会議	9:30	市長会議室	関係者
17	木	第9回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	関係者
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
18	金				
19	土	第2回美唄キッズ漢字検定	10:00	市民会館大会議室	市民
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				

# 1 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
		キッズ・アートスクール	13:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
8	金				
9	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
10	日	成人式	13:00	市民会館	生涯学習課
11	月				
12	火	キッズ・アートスクール	13:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
13	水				
14	木				
15	金				
16	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
		移動史料館炭鉱の変遷と人びとの暮らし(～28日)		ゆ～りん館	生涯学習課
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木	第10回定例校長会議	9:30	教育委員室	指導室
		ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	図書館
22	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
23	土				
24	日	第29回スキーハイキング	9:00	ゆ～りん館周辺コース	生涯学習課
25	月				
26	火	第10回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	指導室
		第3回青少年指導員専任指導員会議	15:00	市長会議室	生涯学習課
27	水				
28	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
29	金				
30	土				
31	日				

## 【生涯学習課】

街頭指導 21日(木)

## 【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

美唄サテライト・キャンパス「成果発表会」「交流会」(1/23)

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

吉岡 建二郎議員  
教育委員会学務課

件 名            3     国際交流について

中項目        (1)   国際交流における双方向での交流について

質問内容

国際交流事業について

- ・ 小中学校における外国の文化を体験する国際交流について  
  これまでの取組みと今後の考え方について伺う。

答弁内容

（小中学校における双方向での交流について ）であります、近年、道内には、外国人観光客が増加しており、本市へもタイや台湾などから観光客が訪れています。今後、益々、子ども達の国際的な感覚が必要になっていくものと考えております。

本市の取り組み状況について本年度で申し上げますと、5月に南美唄小学校で商工観光課や地域との連携のもと、観光でタイから訪れた子どもさんと小学生とが、歌や踊りなどを通して交流を深める機会を持つことができました。

私といたしましては、児童や生徒が様々な異文化にふれることにより、多様な価値観や考え方で物事を捉えていく感覚を身につけてもらいたいと考えておりますので、今後とも、可能な限り、そのような国際理解教育を進めるための体験や交流の場を作ってまいりたいと考えております。

## 平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名        5        18 歳選挙権に伴う政治活動について

中項目        (1)        18 歳選挙権に伴う政治活動副教材について

### 質問内容

文部科学省は、高校生の政治活動や選挙運動を条件付きで認める新たな通達と、又、副教材が 370 万部発行され、教員むけの指導資料約 20 万部配布、すでに届いていると思われる。この資料、中立かつ公正な立場で、公職選挙法違反の注意点が記述され、教員は現実感をもって活用と理解を授業に反映させるのか、とまどいも多く課題もある。政治活動の制限、禁止も多く、生徒個々の行動が委縮してしまうのではと危惧される。

伺いたい点は、

- ①すでに各学校に配布済みか
- ②教員は教材をもとに、どの範囲まで教えるのか
- ③教員は主義主張も必要とも思える「政治的中立」とは
- ④生徒は逆に委縮してしまうのではないか

### 答弁内容

(政治や選挙等に関する高校生向け副教材等について) であります、

- ① 配布状況につきましては、美唄尚栄高等学校、美唄聖華高等学校とも、11 月の下旬ごろに配布されていると、うかがっております

す。

② 次に、副教材を活用した指導についてであります。平成 27 年 10 月 29 日付けの、文部科学省の通知によりますと、「政治的教養の教育は、学習指導要領に基づいて、校長を中心に学校として指導のねらいを明確にし、系統的、計画的な指導計画を立てて実施すること」と記載されております。また、教科においては、公民科での指導を中心として、総合的な学習の時間や特別活動におけるホームルーム活動、生徒会活動、学校行事なども活用して、適切な指導を行うよう示されております。

③ 次に、「政治的中立」についてであります。同じ文部科学省の通知によりますと、「高等学校等における政治的教養の教育を行うに当たっては、教育基本法第 14 条第 2 項において、『特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育、その他政治的活動』は禁止されていることに留意することが必要である」と、示されております。

このことから、教員については、学校教育に対する国民の信頼を確保するため、公正中立な立場が求められており、教員の言動が生徒に与える影響が極めて大きいことなどから、法令に基づく制限などがあることに留意することが必要であるとされております。

④ 次に、指導の在り方については、同じ文部科学省の通知によりますと、現実の具体的な政治的事象を取り扱い、生徒が有権者として、自らの判断で権利を行使することができるよう、より一層、具体的かつ実践的な指導を行うこととされており、生徒が主体的に考え判断することを妨げるものがないよう留意することについても触れられております。

## 平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名        6     クリアファイル調査について

中項目       (1)    政権批判のクリアファイル調査について

### 質問内容

俳人、金子兜太さんのクリアファイルを学校の教員が机の上に置いてあったというだけで、ある道議の指摘で北海道教育委員会は、札幌市立を除く各学校の調査に乗り出したことに何か異常さを感じている。北海道内の小中高約 1,700 校に対し調査票を作成、教職員の名前や状況等を書くなど、職場内での密告を奨励するような行為は行き過ぎだ。教材に使ったわけではなく、持っていたということで、教員の主義主張は尊重されるべきで、この調査、思想・信条の自由に反する恐れが強いと思われる。伺いたい点は、

①調査の内容

②市内の調査実態

③法に違反となればどの点か。机に置いただけで、もし、処分となれば前代未聞である。

### 答弁内容

(校内におけるクリアファイルの配付等に関する調査について )  
であります、

①この調査は、本年 8 月に、道内の一部の道立学校で、「アベ政治を許さない」という文言が入ったクリアファイルの配布が確認され



たことから、北海道教育委員会が、道立高校、札幌市を除く道内の公立小・中学校、定時制の市町村立高等学校について、各学校の状況を把握するため実施されたものです。調査事項としては、当該クリアファイルを、校内で職員が「配布しているところ」を見たことがあるか、校内で「置かれている」「放置されている」「職員が使用している」ところを見たことがあるか、また、見たことがある場合はその状況等についてという内容でありました。

②次に、調査結果についてであります。市内小中学校では、当該クリアファイルの配布や置かれている等の回答はありませんでした。

③次に、法令との関係についてであります。平成27年10月14日付け北海道教育委員会通知によりますと、『「〇〇政治を許さない」「〇〇政治打倒」「〇〇政治反対」などの文言が印刷されたクリアファイルを職員室の自分の机の上に置いたり、校内で個人的に使用する行為は、直ちに人事院規則第6項に規定する「政治的行為」に当たるとは言えないが、児童生徒や保護者の目に触れ、誤解を招く恐れがある。』との記述があり、学校教育に対する道民の信頼を損なうことのないよう、適切な指導が、求められているところであります。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

再質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名        6     クリアファイル調査について

中項目       (1)    政権批判のクリアファイル調査について

質問内容

教職員の主義主張は尊重されるべきで、クリアファイルの調査は、  
内容を見ると露骨です。

金と時間をかけての実施は、ギスギスした職場環境になってしまっ  
たと危惧しています。

この件について、市議会定例会において、質問があった旨、空知教  
育局、北海道教育委員会に伝えていただきたい、その点を伺いま  
す。

答弁内容

（クリアファイルの配布について）であります、  
本市の小中学校におきましては、そのような事実も、問題もなかつ  
たところであります。議員からお話のありました点につきまして  
は、私といたしましては、受け止めさせていただきたいと考えてお  
ります。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

谷村 知重 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     子どもの虐待について

中項目          (1)    虐待の現状と対応について

質問内容

② 未然防止対策と行政や市民の役割について

答弁内容

（教育委員会における「虐待の未然防止」に向けた取組について）  
であります、

市内小中学校等におきましては、健康状態の日常的な観察などを通して、幼児児童生徒の心身の状況把握や虐待の早期発見に努めるとともに、虐待の疑いがある場合には、確証が得られないとしても、早期対応の観点に鑑みて、教育委員会へ報告するよう、市内校長会議などを通して、お願いしているところであります。

また、保護者につきましては、「子育て支援に関する美唄市からのお知らせ」として、相談機関や相談窓口を紹介するリーフレットを作成し、配布するなど、虐待未然防止に向けた啓発活動に取り組んでいるところであります。

教育委員会といたしましては、今後とも、児童福祉担当部門との連携を強化するとともに、関係機関で構成する「要保護児童対策地域協議会」において、実効性のある対処方法について協議するなど、迅速かつ適正な対応に努めて参ります。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名	3	教育行政について
中項目	(1)	平成 27 年度における「確かな学力育成プラン」の具現化について

質問内容

①小中学校における全国学力・学習状況調査について

今年行われた全国学力・学習状況調査について、昨年と比べてどのような状況だったか、「結果」、「成果」、「今後の課題」に分けてうかがう。

②義務教育 9 年間を見通した経年変化について

どのような傾向が見られたのかについてうかがう。

答弁内容

(平成 27 年度における「確かな学力育成プラン」の具現化について) であります、

① はじめに、全国学力・学習状況調査の結果につきまして、知識を主とする A 問題、活用を主とする B 問題に分けてお答えします。

小学校における正答率につきましては、全国との比較において、平成 26・27 年度ともに、国語 A で「同様」であり、国語 B で「低い」状況にあります。

算数につきましては、A・B ともに、平成 26 年度の「低い」から、今年度は「ほぼ同様」となっております。

中学校における正答率につきましては、全国との比較において、

国語Aで平成26年度の「やや低い」から、今年度は「同様」となっており、国語Bで平成26年度の「低い」から、今年度は「ほぼ同様」となっております。

数学につきましては、数学Aで平成26年度の「低い」から、今年度は「やや低い」となっており、数学Bでは、平成26・27年度ともに、「低い」状況にあります。

なお、理科につきましては、小学校・中学校ともに、平成26年度は実施していないことから、比較することができません。

次に、「成果」についてですが、小学校の算数A・B、中学校の国語A・Bと数学Aにおいて、昨年度よりも正答率が伸びてきております。また、小学校の国語Aについては、2年連続で全国平均に達している状況にあります。これは、各学校が、自校の実態を適正に把握し、一人一人に応じた指導や授業改善に取り組んでいる成果であると考えております。

次に「今後の課題」についてですが、全国との比較において、小学校の国語B、及び、中学校の数学Bが「低い」状況にあるなど、基礎的・基本的な知識や技能を活用していく力が、十分、身に付いていない傾向がうかがえることから、今後、引き続き、学習指導の改善・充実に努める必要があると考えております。

② 2点目の「義務教育9年間を見通した経年変化について」であります、

学力向上プロジェクトチームでは、今年度、新たな取組として、同一学年の経年変化について分析を行い、「確かな学力育成プラン」に掲載いたしました。対象は、小学校5・6年生、中学校2・3年生の4学年であり、標準学力検査と全国学力・学習状況調査における国語と算数・数学について検証しております。

その結果については、小学校2年生の段階で概ね全国水準にあるものの、小学校高学年になるにつれて、全国平均との差が開いてくる傾向がうかがえます。小学校6年生を例に挙げて申しますと、国

語の「話す・聞く」、「書く」、「読む」、算数の「量と測定」などの領域において苦手とする傾向が顕著であり、その早急な対応策が求められるところであります。一方、中学校3年生の国語においては、小学校の段階で下降傾向にあった領域が、上昇に転じるなど、着実に改善されてきている実態もあります。

このことから、各学校がそれぞれの学校の課題を的確に捉え、基礎・基本や活用の定着の度合に応じたきめ細かい指導に粘り強く取り組むとともに、小中学校間における学習面での円滑な接続が図れるよう、組織的・継続的に取り組むことが重要であると考えております。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

再質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名	3	教育行政について
中項目	(1)	平成 27 年度における「確かな学力育成プラン」の具現化について

質問内容

① 小中学校における全国学力・学習状況調査について

昨年度より今年度の結果が良いとのことで、学力向上のための様々な努力が実ってきた結果と思われる。特に小学校低学年から中学年について重要なことは、落ち着いた学習環境の中で学習を行うことが、学力向上に関しては大切なことかと思われる。

今後、学級崩壊のような状況に陥った場合の対処法として、保護者等からの情報収集や担任に対する児童生徒への指導方法の見直しを行い落ち着いた環境を取り戻すまで、支援員の配置を速やかに行うべきと考えるが、いかがか。

② 義務教育 9 年間を見通した経年変化について

中学校での学力の向上が目覚ましい例があることが分かった。様々な要因によって向上が図られた中で、現場の教師の努力と、あきらめない、見捨てないという情熱が大きな要因になっているのではないかと考えられる。

熱心で情熱あふれる教師を一人でも多く、美唄の小中学校へ配置していただきたいと考えるが、いかがか。

## 答弁内容

(いわゆる「学級崩壊」について)でありますが、

① これは、子どもたちが、教師の指導に従わずに教室内で勝手な行動をして、授業が成立しないなど、集団での教育が正常に行われない状態のことであり、教員の指導力不足や子ども同士の人間関係、あるいは家庭・地域環境など、様々な要因によって引き起こされるものと考えております。

その解決に当たっては、要因の的確な分析を行うとともに、その効果的な対処について、支援員の活用などを含め、学校全体で組織的・継続的に取り組むことが大切であります。

教育委員会といたしましても、学校との連携のもと、迅速かつ適正な対応に努めるとともに、未然防止が図られるよう、引き続き、「カウンセリング研修」や「発達障がい支援モデル事業」等を通して、教員の指導力向上に取り組んで参ります。

② 次に、教職員の人事配置についてでありますが、

私も同様な思いであり、空知教育局に強く要望して参ります。



平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目           (2)    平成 27 年度教育行政執行方針について

質問内容

① 運動能力・体力向上に向けた取組について

平成 26 年 4 月から 7 月にかけて小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象に調査を行った全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果では、握力や前屈運動に関しては全国平均を上回ったものの、特に中学女子に関しては測定した 7 つの項目すべてにおいて、全国、全道平均を下回っている。

このような状況を踏まえ、今後どのような取組をお考えか、「結果」、「傾向」、「今後の取組や改善の方向」に分けてうかがう。

② スクール・カウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカーの活動状況について

スクールカウンセラーの活動件数は平成 25 年で 180 件、平成 26 年では 235 件、また、スクールソーシャルワーカーの活動件数は平成 25 年で 149 件、平成 26 年では 153 件、そして平成 27 年度の 10 月末現在で既に 172 件となっており、特に、スクールソーシャルワーカーにおいては、年々活動が増加してきている。これらの相談者や相談内容はどのようなものとなっているか、うかがう。

### ③児童生徒の安全確保について

通学路等における安全確保については、市内ボランティア団体のご協力を得て、見守りなどを行っていただいているところでもあります。また、不審者情報として市のホームページや学校で配布される情報によって、保護者ともども、注意喚起を行っているところかと思えます。今後、積雪が高くなるにつれ、児童生徒の姿が見えづらくなり、大変心配されるところではありますが、児童生徒の安全のため、どのようなことが行われているか伺います。また、今後どのような取り組みがなされるかを伺います。

### 答弁内容

(平成27年度教育行政執行方針について) であります、

① はじめに、平成26年度に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」につきましては、児童生徒の体力向上に関する継続的な検証改善サイクルの確立や、学校における体育・健康に関する指導の充実などに役立てることを目的として、小学校5年生と中学校2年生を対象に実施しているものであります。

調査内容は、「実技に関する調査」と「質問紙調査」があり、このうち実技に関しては、小学校では「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「20メートル・シャトルラン」、「50メートル走」、「立ち幅跳び」、「ソフトボール投げ」の8種目について測定しております。

中学校では、小学校の「ソフトボール投げ」が「ハンドボール投げ」に変わり、「20メートル・シャトルラン」と「持久走」とのいずれかを選択することができるほかは、小学校と同様であります。

8種目の体力合計点につきましては、小中別、男女別でお答えしますと、小学校男子につきましては、全道との比較において「ほぼ同様」であり、全国との比較においては「同様」となっております。

小学校女子につきましては、全道との比較において「同様」であり、全国との比較においては「ほぼ同様」となっております。

中学校男子につきましては、全道との比較において「ほぼ同様」であり、全国との比較においては「やや低い」状況にあります。

中学校女子につきましては、全道との比較においてやや低く、全国との比較においては「低い」状況にあります。

傾向といたしましては、全道・全国平均との比較において下回る種目があるものの、「長座体前屈」や「握力」では、小中・男女共に、全国との比較において「ほぼ同様」から「高い」状況にあるなど、好ましい結果も見られます。

また、質問紙による調査においては、「運動が好き」と回答した児童生徒が全国の平均を上回る結果となっており、本市児童生徒の運動への関心は高いと考えられます。

次に、体力の向上に向けての取組や指導についてであります。学校においては、体育の授業において体力向上に向けて継続した指導に取り組むとともに、一校一実践として、児童生徒が主体的に体力作りに取り組む活動を行っております。

また、各学校においては、自校の体力、運動能力の結果や分析を通して、さらに具体的な取り組みを検討しているところであります。

次に、体力向上に向けての改善についてであります。日常的に体を動かす習慣づくりについては、学校だけで育まれるものではないと考えております。

各学校においては、これまで同様、特色ある学校づくりの一環として、「体力の向上や健康づくり」を学校経営の柱の一つとして位置付け、児童生徒の実態に応じた取組を進めるとともに、体力や運動能力の向上には、食事や睡眠などのよりよい生活習慣の定着が欠かせないことから、家庭への啓発にも取り組んで参りたいと考えております。

教育委員会といたしましては、昨年度から本調査の分析・検証に

ついて冊子にまとめ、検討資料として各校に配布しているところであり、12月中に結果が公表される平成27年度の調査についても、同様に取り組むこととしております。また、新年度のスタートに合わせて「家庭学習の手引き」を市内小・中学校の全教職員と保護者に作成・配布し、会議や研修会などにおいて効果的に活用できるよう取り組んで参ります。

② 次に、スクールカウンセラー、及び、スクールソーシャルワーカーの活動状況についてであります、

スクールカウンセラーにつきましては、児童生徒の不登校や問題行動等の対応に当たって、カウンセリング等の機能の充実を図ることが重要な課題となっていることから、児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識や経験を有する方を主に中学校へ配置するものであります。

美唄市においては、非常勤で2名が配置されており、各中学校ともに、月2回、4時間程度、勤務しております。その際、必要に応じて小学校からの相談にも応じるようにしているところです。

カウンセリングの相談者については、学校関係者が一番多く、次いで児童生徒、保護者の順となっております。また、相談内容につきましては、「不登校への対応」や「友人関係」、「親子関係」が多い傾向にあります。

また、スクールソーシャルワーカーにつきましては、「家庭と学校」、あるいは「家庭と公的機関」などをつないで、児童生徒の自立に向けた支援や相談業務に当たることを目的に配置するものであり、美唄市においては、非常勤で1名が配置されております。勤務状況につきましては、週4日、いずれも一日5時間15分となっております。

相談者については、学校関係者が一番多く、次いで保護者の順となっております。また、相談内容につきましては、「不登校」、「家庭環境」、「教職員との関係」、「発達障がい」などが多い傾

向にあります。

現在、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用によって、「不登校の解消」や「適応指導教室への通級」、「学校と家庭との信頼関係の構築」など、児童生徒の自立に向けた支援や人間関係の改善等に一定の成果が見られるようになってきていることから、今後も、関係機関や団体等との連携を強化するなどして、引き続き、課題の解消に努めて参ります。

③ 次に、児童生徒の通学路等における安全確保についてですが、子どもたちの登下校時の見守りについては、「せわずき・せわやき隊」の皆さんのご協力で実施していただき、また、交通安全指導については、学校と地域、保護者の皆さんに取り組んでいただいているところです。また、美唄警察署には、登下校時のパトロールを行っていただいております、地域全体で子どもたちの安全を守るための具体的な取組みが進められているところであります。

今年度の新たな取組みとしましては、美唄警察署、学校、市、教育委員会と合同による危険家屋や不審者の出没箇所などの点検を実施したところであります。

各学校では、不審者等に対して、子どもたち自身が危険を回避する能力を身に付けることができるよう美唄警察署の協力の下、防犯・防災教育や訓練などを通して、危機管理能力の向上を図っております。また、不審者情報の提供のほか、通学路の危険箇所や不審者の出没箇所、近づくると危険な廃屋、雪の影響で通行に注意が必要な箇所などを掲載した「学校安全マップ」を作成・配付し、児童生徒や保護者の皆さんに注意喚起を行っております。

降雪期において、積雪や雪寄せ等により危険と思われる状況にある場合には、市教育委員会から道路管理者に対応を依頼し、登下校時の安全確保を図っております。

今後の取組みについてではありますが、何より大切なのは、多くの目で子どもたちを見ていくことであり、今般、「美唄市教育の日」

制定推進協議会の設立と「美唄市教育の日」の制定がございましたので、これを契機として市民総ぐるみで子どもたちを守るという意識が高まるものと期待しております。

教育委員会といたしましては、このような動きを踏まえつつ、引き続き、市民の皆さんと手を携えて、児童生徒の安全確保に努めて参りたいと考えております。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

再質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目          (2)    平成 27 年度教育行政執行方針について

質問内容

③ 児童生徒の安全確保について

不審者情報等は、市のホームページや学校からの配付物で得ることが出来ますが、保護者への情報伝達手段として、今までの方法に加え、希望者にはメール等を配信する方法は検討できないか伺う。また、警察、消防、タクシー、宅配、郵便局、市内ボランティア団体、コンビニエンスストア等と連携して、児童生徒の安全確保のための情報を収集し、これらの情報を提供することができないか伺う。

答弁内容

（不審者情報等のメール配信システムについて）であります、北海道警察本部で行っている「ほくとくん防犯メール」という情報提供サービスがあり、知りたい地域の犯罪発生情報や防犯対策・子どもに対する声かけ事案等の情報が、メールにより、登録している方に届くこととなっております。今後とも、このサービスに関して警察署とともに、学校や保護者の皆さんに対し、周知を図ってまいりたいと考えております。

また、市内の様々な事業者や関係団体との連携についてでありま

すが、教育委員会といたしましては、情報の収集等につきましては、今後とも、様々な情報が集約される警察署との緊密な連携の下に、学校連絡網により確実に保護者の皆さんにお伝えしてまいりたいと考えております。



平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

土井 敏興 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |   |
|-----|-----|---|
| 件 名 | 3   | アルテピアッツァ美唄について  |
|     |     | これまでの整備に関わる経過・事業費及び評価等について  |
| 中項目 | (2) | ①これまでの整備の経過について<br>②整備における主な事業費と今日までの総事業費について<br>③開設以来、今日までの総入場者数及び直近 5 カ年の入場者数等について<br>④利用者からの声や評価について |

質問内容

アルテピアッツァ美唄は、平成 4 年の開設以来 23 年が経過したが、当初は栄幼稚園が使用していたものの校庭には草木が茂り、建物の傷みも相当進んだ状態であったと記憶している。

ここが、芸術文化交流施設として再生されてからは、様々な立場から意見があったものの、年々整備が進められ、現在では広大な敷地に芝生と水辺が美しい市民憩いの場となり、テレビや雑誌で紹介されるごとに来場者も増えているものと思う。

そこで、この約 20 年間を振り返り、「アルテピアッツァ美唄のこれまでの整備の経過について」、「整備における主な事業費と今日までの総事業費について」、「開設以来、今日までの総入場者数及び直近 5 か年の入場者数等について」、「利用者からの声や評価について」、教育長に伺う。

## 答弁内容

(整備に関わる経過・事業費及び評価等について)であります、アルテピアッツァ美唄は、芸術文化の振興を目的として、閉校した旧栄小学校の跡地を活用し、平成4年7月10日に安田先生の彫刻展示とコンサートなどへの利用を開始いたしました。

これまでの施設整備につきましては、平成3年度から4年度にかけて旧体育館をアトスペースとして改修整備を行い、平成5年度には同年から平成10年度までの「整備計画」を策定し、アトスペースの増築、彫刻の購入や設置、「水の広場」の整備を行い、平成10年度には、旧校舎を改修した「市民ギャラリー」を開設いたしました。

次いで、平成13年度には、平成14年度から平成23年度までの第2期整備計画を策定し、「彫刻の丘」や「音の広場」、「駐車場」を整備、平成18年度には喫茶室・体験工房を開設して、ほぼ現在の形態となっております。

次に、事業費についてであります、平成3年度以降、施設整備費には、約5億1,100万円、作品の購入には、約1億8,700万円、管理運営費には、約2億8,900万円となっており、平成26年度までの事業費の合計額は、約9億8,700万円となっております。

次に入場者数についてであります、オープン当初は、2,000人から3,000人台で推移していましたが、平成8年度の「水の広場」完成以後は、6,000人から7,000人台に増加し、さらに天皇皇后両陛下の北海道行幸啓においてご視察いただいた平成15年度以降は30,000人前後の来場者を記録しており、これまでの入場者数の累計は平成26年度末で約56万3,700人となっております。

また、直近5年間の入場者数は、平成22年度が32,397人、平成23年度は28,023人、平成24年度は28,525人、平成25年度は28,707人、平成26年度は27,545人となっております。

次に、利用者からの声や評価についてであります、これまで、国内外の方が多数訪れ、その景観と作品に心の安らぎや癒しを感じ

るなど高い評価を得ているほか、北海道の「北のまちづくり賞」知事賞や村野藤吾賞などを受彰し、NPO 法人アルテピアッツァびばいについては、北海道地域文化選奨や地域づくり総務大臣表彰を受けるなど、その活動を含め、多くの栄誉も受けております。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

土井 敏興 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |   |
|-----|-----|---|
| 件 名 | 3   | アルテピアッツァ美唄について                            |
|     |     | 施設及び設備等の状況について                            |
| 中項目 | (3) | ①経年劣化を踏まえた改修の考え方等について<br>②展示作品等の劣化対策等について |

質問内容

アルテピアッツァ美唄の建物は、旧栄小学校の校舎をギャラリーに、体育館をアールスペースに改修したものであるが、共に改修工事は行っているとはいえ、相当の建築年数が経過しているものと見受けられる。

また、展示作品についても屋外に設置されていることから、一般の美術館とは異なる維持管理方法が必要であるものとする。

そこで経年劣化を踏まえた改修の考え方等と展示作品等の劣化対策等について教育長に伺う。

答弁内容

（施設及び設備の状況について）であります。

旧栄小学校は、校舎が昭和 24 年、体育館は昭和 33 年の建築でそれぞれ 60 年前後の年数が経過しております。

これらの施設を改修した際には、単にきれいにするのではなく、往時の雰囲気を残しながら、「保存」することを主眼に破損部分の修復を行ったものであり、その耐用年数については約 20 年と見込んでおりましたので、再改修が必要な時期となっております。

改修につきましては、緊急性の高いものから計画的に進めたいと

考えておりますが、当面の対応といたしまして、木造建物の垂直や水平、ゆがみなどを定点観測することにより、老朽化の進行度合いを把握するための準備を行っているところであります。

次に、展示作品の劣化対策についてであります。屋内展示の彫刻作品とは異なり、屋外に展示される作品には、太陽の日差しや風雪等に直接さらされることにより、劣化が進行しやすい環境にあります。

このため、作品自体には表面を保護するためにコーティングが施されているものの、特に水分による浸食や凍結に弱い大理石の作品には、冬期間にカバーで覆う対策をとっているところであります。

しかしながら、コーティング自体も効果の持続は数年であり、定期的にクリーニングと再コーティングを行う必要があることから、これらの対応について検討を行っているところであります。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

土井 敏興 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |                          |
|-----|-----|--------------------------|
| 件 名 | 3   | アルテピアッツァ美唄について           |
|     |     | 施設の将来展望について              |
| 中項目 | (4) | ①文化芸術の一大拠点としての今後のあり方について |
|     |     | ②展示作品等の管理を含めた今後の考え方について  |

質問内容

アルテピアッツァ美唄は、これまで多くの関係者の努力により、美唄市民はもちろん、全道、全国にファンが広がっていると聞くと、今年のような大規模なツアーの受け入れ、あるいは数年後に迫る道道美唄富良野線の開通、また、本市の文化庁長官表彰受彰や安田侃氏の北海道貢献賞の受賞など、大きな転期を迎えているのではないかと考える。

当初は、文化芸術を通じて人々の交流を図ることを目的に開設した施設ではあるが、現在では、美唄市にとってゆーりん館や宮島沼などと共に最も市外から人々を呼び込めるポイントとして、観光振興の面での役割が増している。

このような状況の中で教育委員会では、アルテピアッツァ美唄について、文化芸術の一大拠点としての今後の在り方をどのように考えているのか。

また、彫刻作品の多くは安田侃氏からお借りしているものとも聞いているが、今後、アルテピアッツァ美唄を安定的に運営していくためには、これらの彫刻が将来にわたって確実に展示されていくこ

とが必要であり、課題であると考えるが、展示作品等の管理を含めた今後の考え方について教育長に伺う。

#### 答弁内容

（施設の将来展望について ）でありますが、

アルテピアッツァ美唄の来場者は、今後、海外からのお客様の増加や道道開通に伴う観光客の立ち寄りなどで増加することが見込まれます。

このため、これらの状況に対応するためには、このたびのツアー受け入れの際にも課題となった大型観光バスにも対応できる駐車場の整備や屋外トイレの設置など設備面での整備が必要になるものと考えております。

また、ソフト面では、多様なニーズを持って来場される方々に満足していただけるような体験講座をはじめ学習メニューなどの充実や SNS、インターネットなどを活用した情報発信の強化も重要であると考えております。

このようなことから、教育委員会では現在、アルテピアッツァ美唄を博物館法に基づく美術館として登録し、これまで以上に多様な交流を広げ、質の高い文化の創造に寄与するため、安田先生の作品の展示・活用を中心とした人間性豊かな人づくりを目指した教育プログラムにポイントを置いて、芸術文化に関する学習、鑑賞、創作活動などの教育活動を積極的に進めてまいりたいと考えております。

このため、条例改正も予定しており、文化庁長官表彰により国からも認められた文化芸術創造都市にふさわしい施設として、その位置付けと役割を明確にしてまいりたいと考えております。

また、展示作品につきましては、平成 17 年度から安田先生から寄託していただき、本年 4 月現在で市の所有する彫刻作品が 15 点、寄託された作品が 29 点となっておりますが、教育委員会といたしましてもアルテピアッツァ美唄を永続的に維持運営するためには、現状の作品数を安定的に確保することが必要と考えておりますので、そ

の方策につきましては安田先生ともご相談しながら検討してまいりたいと考えております。



平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

再質問

土井 敏興 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |                          |
|-----|-----|--------------------------|
| 件 名 | 3   | アルテピアッツァ美唄について           |
|     |     | 施設の将来展望について              |
| 中項目 | (4) | ①文化芸術の一大拠点としての今後のあり方について |
|     |     | ②展示作品等の管理を含めた今後の考え方について  |

質問内容

アルテピアッツァ美唄の美術館登録については、これまでも「教育行政執行方針」などで触れられてきたが、登録にはどのような要件が必要であり、どのような手続きにより登録されるのか。

また、これに伴い条例改正を考えているようだが、改正のポイントとしてどのような部分を考えており、今後の作業スケジュールはどうなっているか。

アルテピアッツァ美唄整備基金は、今後の施設の維持管理に欠かせないものとするが、これまでの積み立て状況と使用の内容について、今後の基金の考え方はどうなっているか。

彫刻作品の確保については、アルテピアッツァ美唄が存続していくため最も重要な部分であり、作家から寄贈していただくなどの対応が必要ではないか、教育長に伺う。

## 答弁内容

（美術館登録について）であります、

博物館法に基づく博物館には美術館も含まれており、登録されることで施設や運営の水準の高さが公に認められることから、周囲からの評価や信頼度が高まり、情報発信の強化が図られ、美術館同士のネットワークも強くなるなどのメリットがあります。

登録要件は、4点あり、目的を達成するための博物館資料があること、館長及び学芸員を置くこと、建物・土地があること、年間150日以上開館することが求められているほか、博物館が実施すべきことなど細かな基準等が文部科学省告示等により設けられています。

アルテピアッツァ美唄の現況といたしましては、4つの法定要件中、資料、建物・土地、年間開館日数の3点は既に満たしており、館長及び学芸員については、指定管理者において対応が可能となっているところであります。

この博物館登録に係る事務は、北海道教育委員会の事務でありましたが、平成24年に事務の権限移譲が行われ、美唄市教育委員会が審査及び決定を行うこととなります。

次に、条例の主な改正内容につきましては、4点あり、1点目は名称の変更で、美術館として展示内容が分かる名称とします。

2点目には、「設置」の目的について、美術館として担う役割に沿って整理し、3点目には、現行条例に定める「使用の範囲」を美術館で行う「事業」として整理します。

4点目には、美術館を構成する施設について定めることとしております。

このほか、使用料の見直しも予定しています。

これまでの議論の経過としては、市内部での協議・検討のほか、社会教育委員会議並びに教育委員会議の中で説明し、ご理解をいただいたところであります。

今後のスケジュールにつきましては、今定例会で議員の皆様に改

正の内容や趣旨を説明させていただき、パブリックコメントの募集を行った後、明年第1回定例会に提案の予定であります。

次にアルテピアッツァ美唄整備基金についてであります。基金は平成16年度から積み立てが開始され、平成26年度末までに67件の寄附をいただき、残高は933万1,000円となっております。

積み立ての累計額では、2,094万1,585円となっており、これまでに平成18年度の「体験工房の整備」に200万6,000円、平成21年度の「石のステージ改修」に474万6,000円、平成25年度の「アトスペース外部の改修工事」に522万9,000円を支出いたしました。

この基金は、ふるさと納税制度による寄附金も含め、全国の皆様のご厚意による貴重な財源となっておりますので、今後ともアルテピアッツァ美唄の整備に有効に活用させていただきたいと考えております。

また、彫刻作品の確保についてであります。今後、アルテピアッツァ美唄が安定した運営を続けていくため、安田先生をはじめ関係者とも十分に協議を行ってまいりたいと考えております。

平成 27 年 第 4 回 定例会 一般質問

再々質問

土井 敏興 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |                          |
|-----|-----|--------------------------|
| 件 名 | 3   | アルテピアッツァ美唄について           |
|     |     | 施設の将来展望について              |
| 中項目 | (4) | ①文化芸術の一大拠点としての今後のあり方について |
|     |     | ②展示作品等の管理を含めた今後の考え方について  |

質問内容

条例改正について、平成 28 年第 1 回定例会への提案を予定している答弁であるが、アルテピアッツァ美唄が本市の文化芸術の最重要拠点としてあるためには、パブリックコメント以外にも、例えば「まちづくり地区懇談会」などで市民の意見を直接聞き、丁寧に説明をして理解を得るべきではないか。

また、条例改正を終え美術館となった後の施設の運営形態については、事前に関係者の中で十分議論を詰めておく必要があると考えるがいかがか。

施設の恒久的な維持管理を考えたとき利用者の利便性を図るため、敷地内にトイレの設置や入場料についても検討すべきと考えるが教育長に伺う。

答弁内容

(条例改正の時期について) であります、  
現在、実施を予定しているパブリックコメントに寄せられたご意見を踏まえ、判断してまいりたいと考えております。

また、将来的な施設の運営形態につきましては、いくつかの方式を研究しているところでありますが、それぞれに課題等もあることから、今後、関係者とも協議・検討を進め、方向性を決めてまいりたいと考えております。

入場料あるいは入館料につきましては、収入の確保の観点から引き続き検討したいと考えております。